

やすらぎ短信

令和元年
7月号

七夕（たなばた）



七月七日は五節句の一つ七夕（しちせき）の節句にあたります。「たなばた」とも呼ばれ、星をおまつりする行事が行われます。また、短冊に願い事を書いて笹竹に吊るし、裁縫や習字の上達を祈る風習もあります。北海道では新暦にあわせて八月七日に行っているところが多いようです。七夕といえば、幼い頃に織姫・彦星のお話を聞いたことがあると思います。機織りが上手な織姫と牛飼いの働き者の彦星が出会って結婚し、仲睦ましく幸せに暮らします。しかし、次第に

二人は遊んでばかり、仕事を疎かにします。飼っている牛は痩せて病気になり、織姫の機織り機には埃がかぶり、神様たちの服もほころんできました。怒った天の神様は、二人を天の川を挟んで引き離し、毎日まじめに働けば、一年に一度、会うことを許すことを約束します。二人は心を入れ替えて、まじめに働くようになり、七月七日の夜、一年に一度だけ天の川を渡って再会できる日となったという物語です。夫婦仲良く、怠けずに働くことの大切さを教えております。

夏越の大祓式齋行

六月三十日、氏子崇敬者約四十名がご参列のもと大祓式を斎行致しました。大祓式とは平安時代から続くお祓いの神事で、六月三十日と十二月の三十一日の年に二回行



われております。今回の大祓式は、夏越（なごし）



の祓いとも呼びます。大祓式では、宮司による大祓詞（おおはらえのことば）が奏上され、一人ひとりに配られた人形（ひとがた・半紙を人の形に切ったもの）に今年の半年間、知らず知らずのうちに犯した罪（つみ）、穢（けが）れを移してお祓いし、翌日からはじまる半年間を元気に暮らせるように無病息災を祈願致しました。大祓式の後には、境内にあちこちに設置致しました百個の燈明に、神様やご先祖様への感謝とそれぞれの願いを込めて点燈して頂きました。境内は、灯された百個の燈明で幻想的な景色になりました。

うらほろ和ごころ体験塾

よもぎ餅つき体験

去る六月二十二日、うらほろ和ごころ体験塾主催による「よもぎ餅つき体験・食文化お餅について学ぼう」が浦幌神社社務所で行われました。当日は、四十七名の親子が参加し、日本の食文化であるお餅が、年中行事やお祝いで食されている意味などの説明を宮司から受けた後、境内で摘んできたよもぎを入れて餅をつき、あんこ餅やきな粉餅に調理して、無病息災を祈って参加者で頂きました。ご家庭で餅をつくことが少なくなっている昨今、子どもたちにもこのような体験をして頂くことは大変貴重なことだと感じました。



リシマキア「花」奉納

去る六月二十三日、石原英之様(万年)

よりリシマキアの苗五百株をご奉納頂き、浦幌町空手道少年団の子供たちと保護者のご奉仕により、樹霊塔へと続く参道の脇に植栽致しました。石原氏による花の奉納は、今年で十二回目、空手道少年団による植栽奉仕は十回目となりました。参加した子ども達は保護者とともに手際よく花を植えて下さいました。今回植えたリシマキアは、初夏に黄色い花を咲かせ、黄色いじゅうたんのよう広がっています。今回で二千五百株となった花の開花が楽しみです。ご奉納ご奉仕に感謝申し上げます。



戦没者慰霊祭のご案内

日時 八月十五日(終戦記念日)

午前九時より、

場所 浦幌神社境内、忠魂碑前

雨の場合は、浦幌神社拝殿

浦幌町出身の御英霊に感謝の誠と平和への祈りを捧げます。どなたでも自由にご参列できますので、お誘いあわせのうえ、どうぞご参列下さい。



浦幌神社行事予定

七月一日 月次祭
七月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八